

銚子ジオパーク市民の会 ニュース



第83号

2018年5月24日発行

発行責任者 工藤 忠男

編集責任者 藤身 隆雄

TEL 0479-24-2225

http://choshi-geopark.com/

銚子ジオパーク

推進協議会事務局長

小川 正俊

銚子ジオパーク講座がスタート!

銚子ジオパーク講座がスタートしました。銚子の大地や自然と人々のくらしのつながりを、様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、全八日十七講義で開催するものです。今年も五月十二日の初日を終えましたが、六十人を超える市民の皆さんが受講してくださっています。リピーターも多いことから、毎年、講義のテーマと講師の選定にはとても苦心しています。その甲斐あって今年も興味深い内容の講義や初めて講師を務めてくださる方など魅力あるラインナップになりました。推進協議会では、平成三十年度の事業計画

の中で「地球を体感できるまち・銚子」をコンセプトに掲げ、地球との関わりを常に意識しながらジオパーク活動を展開していくことを共通認識とすることをめざしています。また、次の再認定審査までに解決すべき短期目標と、中期の目標を掲げることで、銚子ジオパークが向かうべき方向性の可視化に努めています。銚子ジオパーク講座では、あらゆる分野での銚子の素晴らしさやポテンシャルの高さを知ることができ、それら銚子の魅力には必ず裏付けとなる大地とのつながりや興味深いストーリーが存在することにも気付かされることがあります。まだ受講したことがない市民の皆さんをぜひお誘いいただけると幸いです。

2018年度市民の会総会は4月28日午後2時から銚子市勤労コミュニティセンターで行われました。市民の会会員は現在340名、そのうち出席者は53名でした。総会の報告事項は3件、議案は4件でした。昨年度の報告事項は、「①銚子ジオパークをより深く理解し、楽しみ、盛り上げる活動。②会員学習会を行い講師による講演会。③ほぼ月1回の野外見学会を実施」でした。

また、ジオガイドについては推進協議会事務局からの依頼を受けて昨年を上回る90回の実施、他ジオパークとの交流としてJGN全国大会等への参加、ジオサイの環境保全は海岸清掃

前に作られた「銚子ジオパーク推進市民の会」の会名から推進を削除して「銚子ジオパーク市民の会」に名称変更すること等です。報告事項と議案すべてが承認され総会が無事終了しました。総会終了後は千葉大海洋バイオシステム研究センターの菊地友則氏による「海辺の生き物の暮らしと環境・動物の形と行動、社会の意義を考える」というテーマで記念講演がありました。

10時にレプリカ作りが始まると、途切れる事なく行列が続き、6名がそれぞれ役割分担して、用意した材料が無くなるまでチームワーク良く進行しました。私は出来上がったレプリカをカードと一緒に袋に入れて手渡す(2面へ)

2018年度市民の会総会報告

会長 工藤 忠男

2018年度市民の会総会は4月28日午後2時から銚子市勤労コミュニティセンターで行われました。市民の会会員は現在340名、そのうち出席者は53名でした。総会の報告事項は3件、議案は4件でした。昨年度の報告事項は、「①銚子ジオパークをより深く理解し、楽しみ、盛り上げる活動。②会員学習会を行い講師による講演会。③ほぼ月1回の野外見学会を実施」でした。

また、ジオガイドについては推進協議会事務局からの依頼を受けて昨年を上回る90回の実施、他ジオパークとの交流としてJGN全国大会等への参加、ジオサイの環境保全は海岸清掃

前に作られた「銚子ジオパーク推進市民の会」の会名から推進を削除して「銚子ジオパーク市民の会」に名称変更すること等です。報告事項と議案すべてが承認され総会が無事終了しました。総会終了後は千葉大海洋バイオシステム研究センターの菊地友則氏による「海辺の生き物の暮らしと環境・動物の形と行動、社会の意義を考える」というテーマで記念講演がありました。

10時にレプリカ作りが始まると、途切れる事なく行列が続き、6名がそれぞれ役割分担して、用意した材料が無くなるまでチームワーク良く進行しました。私は出来上がったレプリカをカードと一緒に袋に入れて手渡す(2面へ)



化石のレプリカ作り

内匠 五月枝

5月10日の「地質の日」にちなんで、銚子ジオパーク推進協議会主催の化石のレプリカ作りが5月5日(こどもの日)に大吠埼灯台の広場で行われました。

推進協議会事務局は3名、市民の会から3名がお手伝いです。